

平成 27 年 度

中 東 遠 看 護 專 門 学 校 組 合
定 期 監 査 結 果 報 告 書

中 東 遠 看 護 專 門
学 校 組 合 監 査 委 員

1 監査の種類

定期監査

2 監査の期日

平成27年11月17日

3 監査の範囲

平成27年9月末日現在の事務事業の実施状況

4 監査の方法

提出された資料に基づき、袋井市監査委員事務局において、事務局長及び関係職員から内容説明を受け、事務事業の実施状況及び予算の執行状況を聴取し、監査を実施した。

5 監査の結果

監査の対象となった予算及び事務事業の執行については、おおむね適正に執行されているものと認められた。

6 監査所見

- (1) 少子高齢社会を迎え、看護職の人材不足は未だ解消されず、管内5病院においても看護師確保は喫緊の課題となっている。更には、4年生大学における看護系学部の新設も増え、地元の優秀な学生の確保が厳しくなっている。このような状況において、今年度は社会人の受験機会の拡大を図る等の取り組みを行った。引き続き、学校の特徴や特色・魅力を広く情報発信し、優秀な学生の確保に努められたい。
- (2) 看護教員の確保について、この先10年間に7人の教員の定年退職が予定されており、看護学生の教育指導に教員は必須であり、計画的な確保に努められたい。
- (3) 施設の老朽化については、開校以来22年が経過し、経年劣化が著しくなっていることから、大規模修繕計画に基づき修繕を実施し、施設の長寿命化に取り組まれない。